



モエワ・カムイ 90

NO.

もくじ

ぼくは動物大使 その51 村の守り神シマフクロウ	1.2
特集、雨でも楽しい動物園	3.4
飼育研究レポート キングペンギンの仮親を用いた育雛について	5
動物園裏側紹介 動物園の台所「調理棟」編	6
主なできごと・もうじゅう館・出産ラッシュ! 編集後記・飼育動物数	7

○モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 July 2016

ASAHIYAMAZON NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



シマフクロウ

Ketupa blakistoni

シマフクロウ

Ketupa blakistoni

フクロウ目 フクロウ科

ユーラシア大陸極東沿岸地域と北海道周辺にのみ生息し、日本で見られるフクロウ類の中で最も大きい。大陸に生息する*K.b.doerriesi*、北海道、サハリン、千島列島に生息する*K.b.blakistoni*の2亜種に分類される。種としての個体数は1500~4000羽と推定され、日本では森林伐採による営巣木の減少、河川改修やダム建設による魚類の減少が原因となり生息数は140羽ほど。環境省により絶滅危惧IA類に指定されている。

分布



夜の動物園におすすめ!!

夜行性のシマフクロウを観察するのならなんと言っても夜の動物園の期間中が一番のおすすめ。昼間にはなかなか見られない餌を食べるシーンや、運が良ければ鳴き声も聞こえるかも!※今年の夜の動物園は8月9-15日です。



ぼくは動物 村の守り神

大使 その51 シマフクロウ



食べ物

魚類が主食。他にはカエルなど両生類や鳥類、小型の哺乳類など。旭山ではニジマスやホッケを給餌。

体

- 全長 60-72cm
- 翼開長 178-190cm
- 体重 3.1-4.4kg

鳴き声

ポウポウ(オスの声)、ヴォー(メスの声)と響くような野太い鳴き声。はじめにオスが2節鳴き、メスが1節で鳴き交わす。



上記のQRコードを読み取って迫力の捕食シーンを事前にチェック!これが生で見られるかも? ※旭山動物園公式YouTubeに接続されます。



羽音

ネズミ類を主食とするフクロウは獲物に気付かれないよう羽ばたいても音がしない。一方、シマフクロウは獲物の魚が水中にいるので飛ぶとバサバサ音がする。

繁殖

大木の樹洞で繁殖する。3月頃に通常2卵産卵し、抱卵期間は35日間ほど。卵はニワトリよりも丸くおよそ90g。ヒナは約2ヶ月で巣立ちする。



シマフクロウの趾(左)と
ワシミズクの趾(右)

趾

他のフクロウ類は主にネズミなどを捕食するため羽毛が生えているが、シマフクロウは魚食で水に入るため趾に羽毛がない。(ウオウイフクロウの仲間の特徴)



旭山のロコとモコの
今後の繁殖に期待!



旭山に最初に来園したロコ(メス)はペアを組める繁殖相手が見つからなかったため釧路市動物園に移動しました。

旭山のシマフクロウ

ロコ(オス) 1997年生まれ



釧路市動物園で繁殖した個体。旭山に最初に来たシマフクロウの「ロコ」の叔父にあたる。

モコ(メス) 2011年生まれ



道東で保護された野生由来の個体。右目に怪我をしており失明しているが、飼育下での生活に支障はない。

動物園でシマフクロウを飼育する意義とは?

野生の個体数が140羽ほどしかいないシマフクロウをなぜ動物園で飼育するのか?野生に戻してあげた方がいいのではないかな?そんな疑問を持たれる方もいるかもしれません。

動物園でシマフクロウを飼育するには大きく2つの意義があります。一つ目は「域外保全」です。生息地での保全活動(域内保全)とは別に、飼育下で繁殖研究をおこなったりすることで遺伝子プールを保持するためです。そして二つ目は「情報発信」。動物園には様々な世代の多くの人々が訪れます。そこで実際にシマフクロウを見てもらい、生態や現状について知ってもらうことが重要なのです。



設置が進められている
人工巣箱

シマフクロウの未来へ向けた取り組み

現在、シマフクロウを保護するために官民が一体となってさまざまな取り組みが行われています。

- ・ 営巣できる大径木がないため人工巣箱の設置
- ・ シマフクロウの生息環境を守るための植林
- ・ エサ不足を解消するための給餌用生け簀の設置
- ・ 交通事故に遭わないための防止対策などがあります。

特集

雨でも楽しい動物園

「今日は雨かぁ〜」「雨だし動物園に行くのはやめておこう…」雨が降るとテンションが上がらない人も多いでしょう…でも、それはもったいない!雨は必ず降ってくる。それなら雨も楽しんでしまおう!動物園の動物たちも、雨の日には観ることの出来ない姿があります。今回は、雨の日の動物園の注目ポイントや、楽しめるポイントを紹介します。

雨の日の楽しみ方

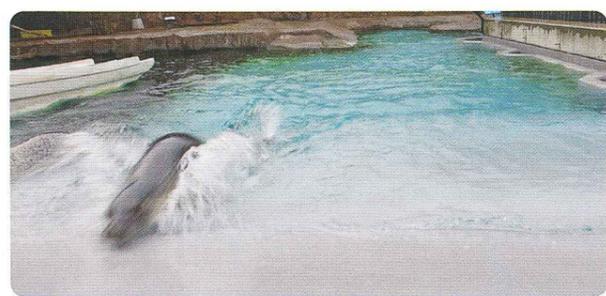
動物たちの姿・痕跡

動物によっては、雨の当たらない場所でじっとしている時間が長くなります。これはチャンスと、動かない動物たちをじっくり観察してみましょう。なぜその色?など疑問に思うことがたくさんあるはずです。また、放飼場には動物たちの足跡が残っているかもしれません。



雨が降ると活発な動物たち

イワトビペンギンやゴマフアザラシなど、水中で活動する動物たちは元気一杯!晴れている日より活発に活動することもあります。アザラシは雨脚が強くなるほど楽しく?なるらしく、水面をジャンプしたりする行動が多く観察できるようになります。注目してみましょう!



ゆっくり・じっくり歩こう!

旭山動物園には動物舎が28施設あります。そのうち、およそ半分の施設に屋根があり、雨に当たらず動物たちを観察することが出来ます。各館には動物たちの情報満載の手書き看板が展示してあります。じっくりゆっくり読んでみましょう。こども牧場などもおすすめです。



動物図書館に行こう!

動物図書館には、動物関連の図書が多数あり、動物たちのことを詳しく調べる事ができます。調べてから園内の動物たちを観察すると、よりおもしろい発見があるかもしれません。また、折り紙絵本を作成することもできます。天気に関係なく遊びに行きましょう!



まずい・・・急に雨が降ってきたぞ

「突然、雨が降ってきた。雨の準備なんかしていない」・・・そんな時でも大丈夫!雨具は動物園でレンタルできます。突然の雨の際は、園内スタッフに遠慮なくお声がけください。



◀レンタルの傘
※レンタル傘は、西門前駐車場より毎年寄贈していただいています。

【レンタルポイント】
・レンタル傘
正門、西門、東門
・ビニールすきん
サポートセンター

芸術の本・・・雨!

飼育展示スタッフが、雨の日に園内に飛び出し、雨の日には撮ることの出来ない写真を撮影してきました。掲載されているもの以外にもたくさんの美しい・楽しい光景があるはずです。それぞれの感性で探しに行きましょう。



【こっそり情報】

動物にもよりますが、雨でもガイドは行きます。参加者が少人数なら飼育スタッフと密なコミュニケーションがとれるかも…。

▲
ワオキツネザルも
集団雨宿り

北海道産動物舎は
雨が降ると森の中みたい



【こっそり情報】

大雨の時に、館内で不定期特別ガイドが人知れず行われている場合があるみたい。「ペン」がつく場所と「こど」がつく場所ですって。



【こっそり情報】

今回の特集をきっかけに、こども限定 カエルポンチョの制作を検討中。実現するかはわかりませんが…続報を待たれよ。

▲
雨を弾く水鳥の
羽根はとても美しい

◀雨宿り中。
私は誰でしょう?



▲
木は雨が直接地面に
落ちるのを防ぐんだね



◀ライオンの放飼場。
人工の屋根と天然の屋根

今回は、雨の日の動物園の楽しみ方、魅力を集めてみました。と、言ってもなかなか雨を好きになれないかもしれませんが。しかし、雨が降るからこそ、私たちは生活の中で水を使うことができます。食べ物を作るのにも、必ず水が必要です。「雨が嫌い」ではなく、「雨も大切だね」という気持ちを持つことが、自然を大切にしたい気持ちに繋がっていくのではないのでしょうか。これからも雨の楽しみ方を考え、イベントなど行うかもしれません。ぜひ、1年を通して、天気に関係なく動物園に遊びに来てください。いろいろな動物を、自然を知り、学び、楽しんでいただくのが動物園です。さて、雨だし動物園に行こう!



飼育研究レポート

キングペンギンの仮親を用いた育雛について



1 はじめに

2015年にキングペンギンが2羽孵化し、2016年の4月に無事巣立ちを迎えました。今回はキングペンギンの繁殖についてお話しします。

2 キングペンギンの繁殖

キングペンギンは5-6月に産卵し、約54日後に孵化します。抱卵と育雛はオスとメスが協力して行います。2015年の繁殖シーズンに入り、No.2(オス)とNo.28(メス)のペアが産卵しました。その後、なんとNo.2はNo.13(メス)とも交尾だけをし、No.13は単独で産卵となりました。このままではメスだけで抱卵と育雛をしなければいけません。しかし、1羽だけでは育雛の負担が大きすぎ病気などのリスクが高くなります。さてどうしたら良いものか…。

3 仮親作戦

同じ時期No.10(オス)とNo.34(メス)も産卵していたのですが、このペアの卵は残念ながら無精卵でした。

そうだ! No.10とNo.34にNo.2とNo.13の卵を預けよう!

「え?そんなことできるの?」と普通は思います。しかし、No.10とNo.34は全く気にせずに抱卵を開始したのです。このように親ではない個体に抱卵や育雛をさせることを仮親といいます。仮親になったNo.10とNo.34は協力して抱卵を行いました。そしてついに孵化の日を迎えました。

4 体重増加作戦

無事孵化したキングペンギンのヒナですが、一時的に飼育係が給餌することにしました。孵化したてのキングペンギンのヒナは弱く、他の大人たちに踏まれて死んでしまうことがあるからです。孵化後約1週間、1日5回、魚のすり身とオキアミ、生クリームを混ぜた特製の餌を与えました。

5 おわりに

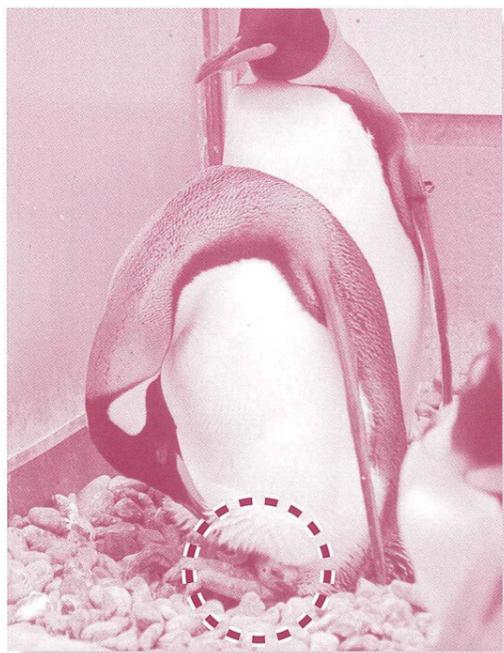
孵化後1週間がたち、仮親であるNo.10とNo.34にヒナを戻す日がやってきました。ヒナは元気に鳴き、エサをねだっています。仮親達がヒナに給餌を始めました。それからはヒナは順調に成育し、巣立ちの時を迎えました。

今年も繁殖の季節がやってきました。新しい命の誕生にご期待ください。

(ペンギン担当 獣医師 佐藤伸高)



孵化2日後のヒナ 体重は226g



仮父親のNo.10とヒナ(点線丸)

動物園裏側紹介

動物園の台所「調理棟」編



旧総合動物舎裏にある、動物園の台所「調理棟」。

園内からは見えない所で、動物たちのエサが作られたり、保管されています。今回はその調理棟を紹介します!

この大きなまな板で、いろいろな動物たちのエサを作ります。



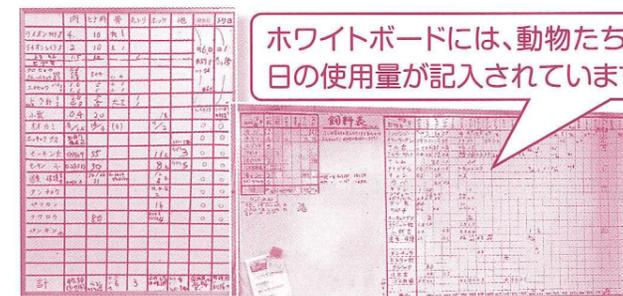
馬肉が解凍され、肉食動物のエサとなります。馬肉を動物ごとに切り分けます。



野菜屋さんが配達してくれる、野菜・果物の量、鮮度をチェック。こんなにたくさんの野菜や果物が使われます。



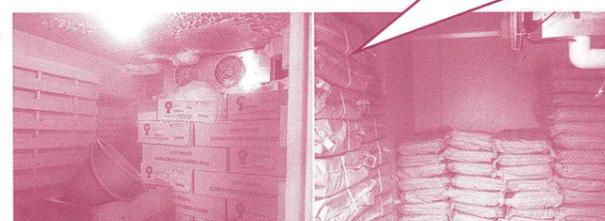
ホワイトボードには、動物たちの1日の使用量が記入されています。



2つある倉庫には、ペレット類(固形飼料)が保管されています。



冷凍庫には、馬肉・ホッケ・イカナゴなどを保管しています。



飼料担当の中野さんからのメッセージ



飼料は飼育スタッフの1人が担う仕事です。仕事の内容は、肉食動物用の肉や魚の準備や切り分けのほか、野菜・ペレット類・その他全ての飼料の在庫管理、発注、飼料代の支払事務などです。飼育展示スタッフなのに飼育業務じゃない(実際の仕事の半分は事務です)、と考えてしまいそうですが、エサを食べない動物はいないわけで、そう考えると全ての動物に関わる仕事だとも言えます。飼料に対する飼育担当者の要求、つまりは動物たちの要求を出るだけ叶えられる様、日々エサの準備をがんばっています。

主なできごと

3月6日 天売猫のおはなし会・譲渡会開催



8日 シマフクロウ・ロック

釧路市動物園へ搬出(返却)

9日 シマフクロウ・ロロ(オス)とモコ(メス)

釧路市動物園より来園

レッサーパンダ・栄栄(メス)

那須どうぶつ王国へ搬出

ワオキツネザル・フランネの子死亡

(外傷による肝臓損傷)

11日 東京都より保護されたオオタカ3羽

(オス2羽、メス1羽)来園

12日 ワオキツネザル・ナスカ出産(オス)

23日 飼育勉強会

29日 ゴマフアザラシ・まめ出産(死産)

4月2日 ダイハツ工業株式会社より「ボルネオへの恩返しプロジェクト」への軽トラック寄贈式および感謝状贈呈式開催



4日 飼育勉強会

8日 アムールトラ・ザリア出産

(3頭出産・うち1頭死産)

14日 シンリンオオカミ・ミナ(メス)とカナダツル平川動物公園へ搬出

19日 ユキヒョウ・ジーマ出産(2頭)

23日 ユキヒョウ子1頭死亡(衰弱)

25日 ニホンザル・モドキ(メス)死亡(老衰)

29日 夏期開園日

5月4日 オオワシ(北海道産動物舎)孵化

8日 自然観察会

「野山で春を感じよう!野鳥・草花観察会」

もうじゅう館・出産ラッシュ!

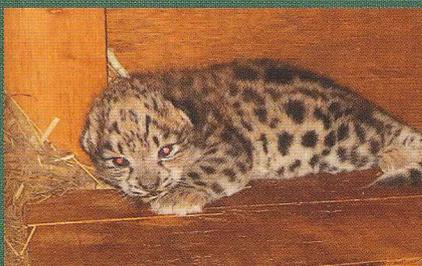
4月8日にアムールトラ、19日にユキヒョウともうじゅう館で出産が続きました。どちらも昨年は出産したものの生育せず、残念な結果となっていました。担当者はその後、産室を改善したりと「今年こそ繁殖成功!」と意気込んでいました。

予定日が近くなると、毎日ドキドキする日々でしたが、無事出産し親が育児をしている様子を確認でき、一安心となりました。

それぞれ生後2ヶ月くらいから屋外に出る練習をはじめ、6月下旬からは展示を開始しています。ぜひ会いに来て下さいね。



アムールトラの赤ちゃん



ユキヒョウの赤ちゃん

編集後記

昨年に続いて雪の全くない春の開園準備でした。雪割り(雪を崩して、早く溶けるようにすること)がまったくなく、飼育係としては楽な反面、ちょっとしたりなかつたりも?

その分、制作物や看板の更新にしっかり時間をかけることが出来ました。続々デビューする動物の赤ちゃんだけでなく、飼育係の力作にも注目してみてください(中村)

モユク・カムイ No.90 平成28年7月15日

●発行所/旭川市旭山動物園

〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104

●発行/坂東 元 ●表紙絵:中田 真一

●編集/丸 一喜・高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・中村 亮平・佐賀 真一

●印刷/榎須田製版

〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

2016年5月末現在

●哺乳類 46種・274点

●鳥類 63種・328点

●は虫類 5種・17点

●合計 114種・619点